

## COBIT ファンデーション認定試験

# 試験実施要項

本書面は、COBITファンデーション認定試験の受験をご検討の方への情報提供を目的としています。本書面には、試験の範囲ならびに用語および目的のほか、COBITファンデーション認定試験の体系に関する情報も記載されています。

第1.1版  
2007年2月

© 2007 ISACA/ITGI

本発行物の内容の一切について、印刷、複写、マイクロフィルム、電子的手段もしくはその他いかなる手段によっても、これを複製または公表することはできません。さらに、ISACA/ITGIにより事前の書面による許可がない場合には、これを保存する行為は一切認められていません。

## 概要

### COBITファンデーション認定試験

COBITファンデーションコースおよびCOBITファンデーション認定試験は、IT監査役、IT管理者、IT品質管理者、ITリーダー、IT開発技術者、ITサービス企業のプロセス担当者や管理者等に対して適した内容となっています。COBITについてさらに学習したいとお考えの方にとっては、いずれも有意義なものになります。試験に合格すると、COBITの概念、構成要素、適用方法について理解したものとして認定されます。また、COBIT導入プロジェクトに参加する備えができるとともに、さらに上級のコースであるCOBIT導入ワークショップやSOX法対応COBITコースに参加する知識を得ることもできます。

### 必要となる知識・技能・実務経験

COBITファンデーション認定試験を受験するための条件はありません。本書面にも記載されているように、試験に必要な知識は、COBITファンデーションコースの受講できるカリキュラム内容で対応できます。

### 継続専門教育 (CPE)

COBITファンデーションコースを修了し、COBITファンデーション認定試験に合格された場合には、ISACAより継続専門教育 (CPE) 8単位が認定されます。また、クラスルームを受講し、COBITファンデーション認定試験に合格された場合は、14単位のCPEが付与されます。

### 試験の詳細

試験は多岐選択方式で、40問出題されます。合格するためには、28問以上の正解、すなわち70%以上の得点が必要です。

### 試験規則

試験はオンラインで実施されます。終始状況を管理し、試験を監督する試験監督官のもとで実施されることが条件となります。

試験監督官は、受験者の試験結果と業務上の利害関係のない人物でなければなりません。受験者と同じ組織に属する人物でも構いませんが、受験者の直属の上司や同僚が務めることはできません。受験者の地元の教育機関や人材育成機関等の外部組織の方であれば理想的です。試験監督官の登録に関する詳細は、受験登録をされた時点で、ITプレナーズよりお知らせします。

また、試験問題に関する照会はお受けしておりませんので、ご注意ください。

## 試験範囲

本試験は、COBITファンデーションコースで取り扱われる以下の項目に関する受験者の理解を測定するものです。

- ITマネジメントの問題が組織に与える影響
- ITガバナンスの概念、ITマネジメント問題に取り組む上でのITガバナンスの役割、責任および体制
- ITガバナンスからの観点に基づくコントロールフレームワークの必要性
- ITガバナンスフレームワークの要件を満たす上でのCOBITの役割
- 他の基準やベストプラクティスと合わせたCOBITの活用方法
- COBITのフレームワークと全構成要素
- COBITの活用によるメリットの実務への適用方法
- ISACA/ITGIが提供する製品とサポート

## 試験カリキュラム

組織に影響を及ぼすITマネジメントに関する重要な問題の特定およびITガバナンスフレームワークの必要性の理解

- 組織に影響を与えるITマネジメントの問題や課題の特定
- ITガバナンスに関する責任所在の明確化
- ITガバナンスの概念の明確化
- マネジメント問題の解決にあたりITガバナンスが果たす役割の明確化
- ITガバナンスの要請に基づくコントロールフレームワークの必要性の明確化

COBITの構成要素および他のITマネジメントフレームワークに対してCOBITが果たす役割の理解

- COBITの構成要素の確認
- コントロールフレームワークの要件を満たす上でのCOBITの役割の理解
- COBITと他の基準との関わり
- 規制要件を満たすためのCOBITの役割の理解
- COBITによって組織の管理者や監査役が享受するメリットの定義

COBITのフレームワークおよび構成要素の定義

- COBITフレームワークの機能の明確化
- IT活動の4つのドメインにおける特徴の明確化
- COBITのITプロセスが果たす役割の定義
- 7つの情報要請規準の定義
- IT環境の資源に対するCOBITの定義の詳細
- COBITのコントロール目標と指標の定義
- マネジメントガイドラインにおける指標および成熟度モデルの定義
- 監査ガイドラインの一般的な監査アプローチの定義

2つのCOBITプロセス、P010およびDS02へのCOBITフレームワークの適用方法の理解

- P010およびDS02に対するコントロール目標およびコントロールプラクティス
- P010およびDS02のIT課題に対応するCOBIT重要目標達成指標 (KGI)
- P010とDS02に対して想定されるKGIに対応するCOBIT重要成果達成指標 (KPI)

**COBITの資源に関する定義およびCOBIT  
がビジネスにもたらすメリットの理解**

- P010およびDS02に対する成熟度モデルの適用
- COBITの4つの資源、COBIT オンライン、COBIT クイックスタート、COBIT セキュリティベースラインおよびITガバナンスのための導入ガイドの各定義
- ITガバナンスの目標との結びつきによりCOBITがビジネスにもたらすメリットの明確化

## 参考文献

COBITファンデーション認定試験の受験に際しては、以下のテキストを参考にされることをお勧めします。

- COBITファンデーションコース (eラーニング)
- COBITファンデーションコース (クラスルーム)

さらに、COBITに関する知識および活用向上の手段として、以下のサポート製品のご利用もお勧めします。ただし、これらについては試験に必須ではありません。

[www.isaca.org](http://www.isaca.org)より入手できます。

- COBIT第4版
- ITGI Board Briefing on IT Governance 2<sup>nd</sup> Edition

等

## 用語の定義

説明責任  
調達と導入  
活動とタスク  
アプリケーション・システム  
可用性  
バランススコアカード  
ベンチマーキング  
BS7799/ISO17799  
ビジネス要件  
ビジネス戦略  
COBIT  
COBIT フレームワークの原則  
COBIT ミッション  
COBIT オンライン  
COBIT オンライン ベンチマーキング  
COBIT オンライン コミュニティ  
COBIT オンライン 総括表  
COBIT クイックスタート  
COBIT セキュリティベースライン  
COBIT セキュリティ要件  
COBIT トライアングル  
共通言語  
準拠性テスト  
機密性  
コントロールフレームワーク  
コントロール規準  
コントロール目標

コントロールプラクティス  
是正処置  
COSO  
データ  
定義  
サービス提供とサポート  
改善プログラム  
方向性の設定  
DS2 サードパーティのサービスの管理  
評価  
外部の利害関係者  
施設/設備  
準拠性  
一般的な許容性  
特定とドキュメント化  
情報要請規準  
初期  
インテグリティ  
IT ガバナンス  
IT プロセス  
IT 資源  
IT 利害関係者  
IT ガバナンス導入ガイド  
ITIL  
重要目標達成指標(KGI)  
重要成果達成指標(KPI)  
M1 モニタリング  
管理された  
マネジメントガイドライン  
経営者による再確認  
リスクの管理  
成熟度モデル  
測定規準  
モニタリング  
取得、評価、査定、実証  
最適化  
人  
成果の測定  
パフォーマンス・スコアカード  
計画と組織  
P010 プロジェクト管理  
ITガバナンスの原則  
プロセス指向  
規制遵守  
再現性  
資源の管理  
資源の最適化  
実行責任

---

リスクの受容  
リスクの回避  
リスクの管理  
リスク管理のためのアクションプラン  
リスクの低減  
リスクの移転  
戦略との整合  
実証性のテスト  
テクノロジー  
COBITの4つのドメイン  
価値の提供

## 受験手続

受験申し込みが完了されましたら、以下の手順に従って登録手続きを決定してください。

**手順1:** 受験希望日の遅くとも10営業日前までに受験日時をお決めください。(申込み日より1ヶ月先までお申込み可能です)

**手順2:** 試験における試験監督官をご指定してください。試験監督官には、ITプレナーズより「試験監督官用の手引き」が提供されます。試験監督官の登録に必要な関連情報は、この手引きの中に含まれています。

**手順3:** 添付書類4.0「受験登録用紙」にご記入の上、[japan.exams@itpreneurs.com](mailto:japan.exams@itpreneurs.com)まで電子メールもしくは、FAXにてお送りください。受験登録用紙が届かない場合は、上記電子メールアドレスまでご請求ください。

**手順4:** 受験者は試験監督官をご担当される方へ、添付書類1.0「試験監督官登録用紙」をご記入/ご署名頂いた上、添付書類4.0と同様に上記アドレスへお送りください。

**手順5:** 登録手続きが処理され、全ての書類が受理されましたら、受験日の2日前までに受験者および試験監督官へログインに関する詳細をお知らせします。

**手順6:** 受験者は、登録した受験日時に限り、オンライン受験画面にてログインすることができます。

**手順7:** 試験結果は、試験終了後すぐに判明し、試験結果のプリントアウトも可能です。合格された場合には、ISACA/ITGIより合格証明書が本人宛に発行されます。試験監督官は、添付書類3.0「試験監督官による試験報告書」を完成させ、必ずITプレナーズまでお送りください。